

## ◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、3.25(221例)で、減少してきていますが、依然として過去5年平均値(1.96)を上回っています。

## ◆ 今週のトピックス: <百日咳>

定点当たり報告数は、0.02(1例, 男, 8歳)で、先週(1例)に続いて報告があり、本年の累積報告数は、3例(6～11ヶ月, 1歳, 8歳)となっています。

詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 5例, 肺外結核 1例, 無症状病原体保有者 なし), (喀痰塗抹陽性 3例)  
【1月以降の累積報告数 108例(肺結核 75例, 肺外結核 24例, 無症状病原体保有者 9例), (喀痰塗抹陽性 32例)】

### 定点報告の主な感染

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	3.25	221
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.37	220
	② 水痘	0.68	28
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.49	20
	④ 流行性耳下腺炎	0.37	15
	⑤ 突発性発しん	0.29	12
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

### 病原体情報

ありません。

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <百日咳>

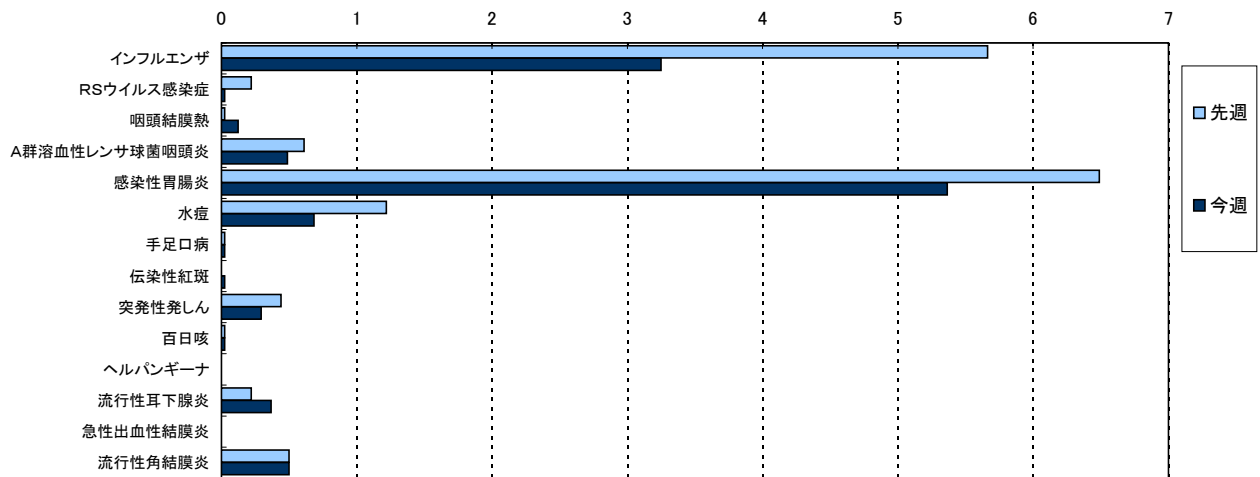
(注) 京都市のデータは、平成21年4月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

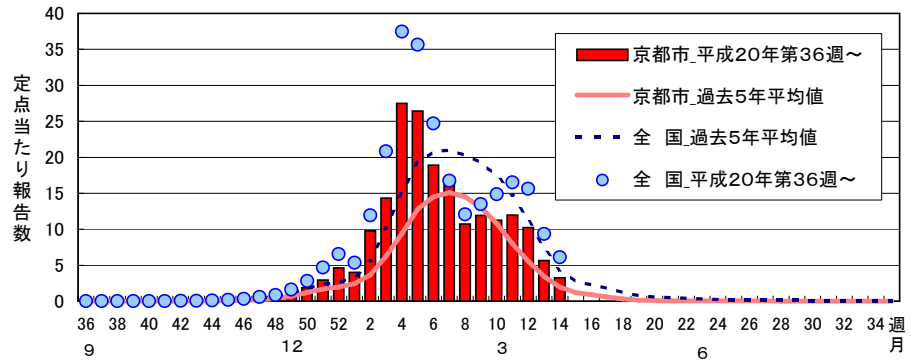
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第14週)と先週(第13週)の定点当たり報告数の比較



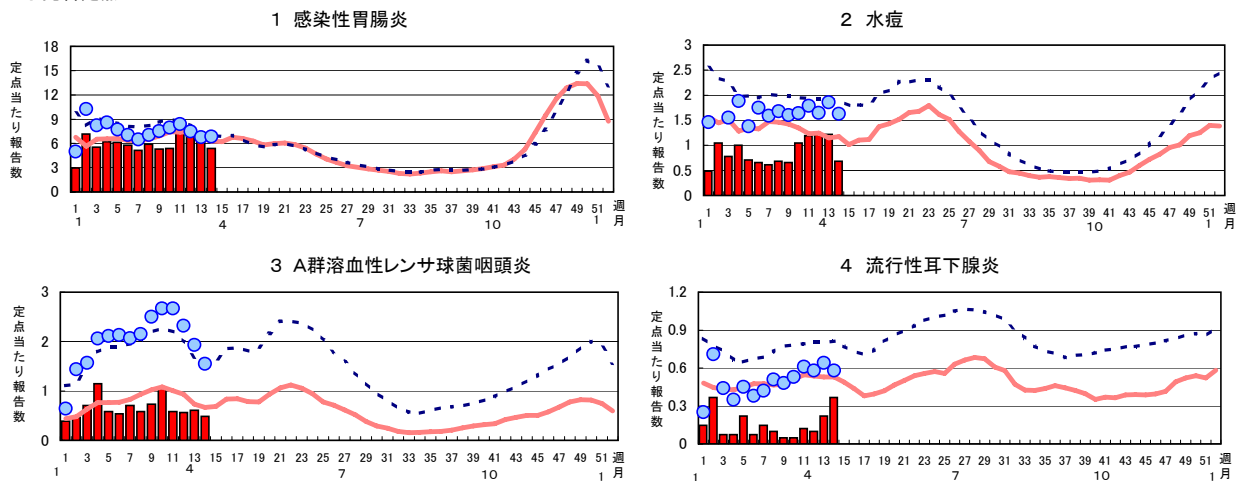
## 2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第10週	765
第11週	814
第12週	696
第13週	385
第14週	221
累積報告数 (第36週以降)	13155

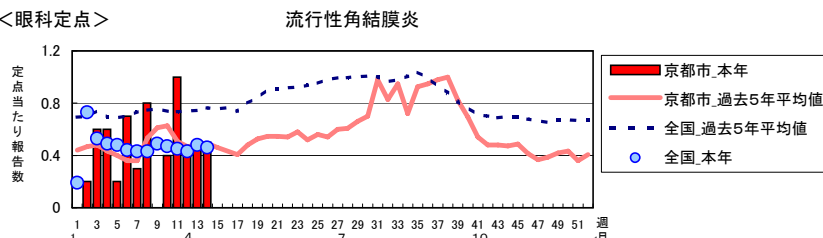


## 3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



## 今週(第14週)のトピックス: <百日咳>

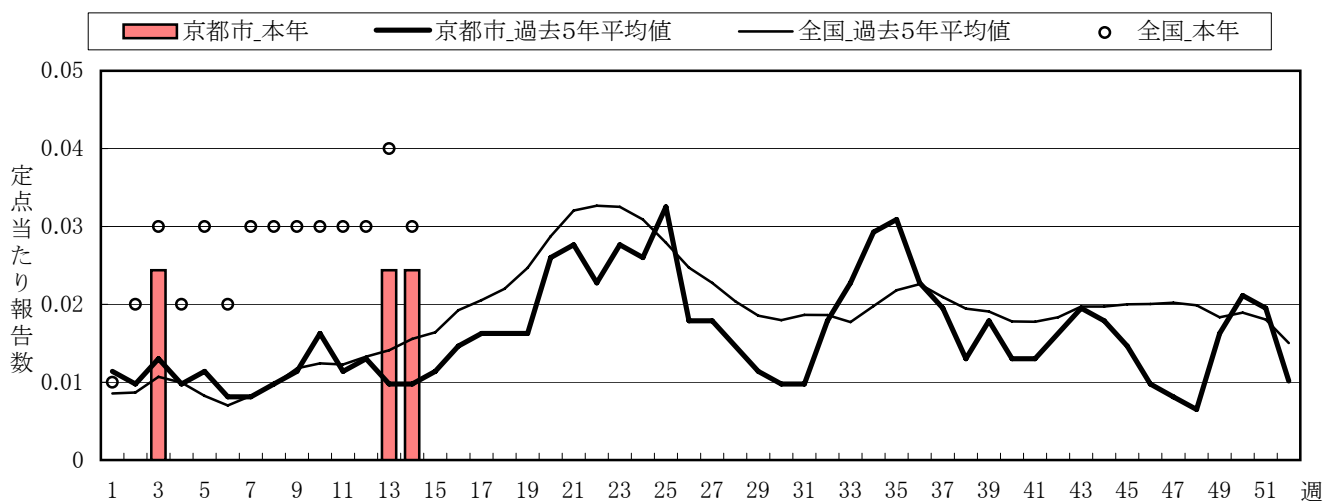
定点当たり報告数は、0.02(1例, 男, 8歳)で、先週(1例)に続いて報告があり、本年の累積報告数は、3例(6~11ヶ月, 1歳, 8歳)となっています。

なお、本年の全国の定点当たり報告数の推移をみると、第1週以降、過去5年平均値を上回っており、多い状態が続いています。

過去の累積報告数をみると、平成18年31例、平成19年35例、平成20年55例と、増加傾向を示しています。

また、年齢階級別報告数をみると、小児科定点からの報告にもかかわらず、20歳以上の報告数及び全体に占める割合が、年々増加しています。(平成18年3例(9.7%), 平成19年4例(11.4%), 平成20年17例(30.9%))

### 本市及び全国の定点当たり報告数の推移



### 平成18年~平成21年の年齢階級別報告数

